

■ 鳥飼地区：多重被災に関するアンケート調査 集計報告

YNF/CR-ASSIST

## 目次

I. 調査概要 .....	2
1. 調査目的.....	2
2. 調査方法.....	2
3. 回収 .....	2
II. 単純集計報告 .....	3
1. 基本属性.....	3
2. 被災経験.....	3
3. 被災した後の住まいの復旧について .....	6
4. 災害時の情報について .....	13
5. 防災・減災への取組みについて .....	16

### I. 調査概要

#### 1. 調査目的

#### 2. 調査方法

調査期間：2022年12月27日調査依頼文投函 ～ 2023年2月20日個別訪問

調査方法：Questant を利用した Web アンケート（依頼文からの自己記入および訪問による調査員記入）

#### 3. 回収

自己記入・・・14件

調査員訪問・・・55件

合計 69件

## II. 単純集計報告

### 1. 基本属性

#### 1) 年齢

	N	%
20代	1	1.4%
30代	3	4.3%
40代	9	13.0%
50代	14	20.3%
60代	18	26.1%
70歳以上	24	34.8%
合計	69	100.0%

#### 2) 性別

	N	%
男性	28	40.6%
女性	41	59.4%
合計	69	100.0%

### 2. 被災経験

#### 1-1) 現在のお住まいで、過去5年のうち、被災した年について教えてください。

	件数	%	N
<2018年(平成30年)>(平成30年7月豪雨)	29	43.3%	
<2019年(令和元年)>(令和元年8月の前線に伴う大雨による災害)	35	52.2%	
<2020年(令和2年)>(令和2年7月3日からの大雨による災害)	10	14.9%	
<2021年(令和3年)>(令和3年8月11日からの大雨による災害)	65	97.0%	
<2022年(令和4年)>(令和4年8月の大雨)	0	0.0%	
合計	139	207.5%	67

被災年度については、不確かな回答もあるが、被災回数を間違えている可能性がある点には留意が必要。

### 1-2) 被災経験回数

	N	%
未経験	2	2.9%
1回	8	11.6%
2回	49	71.0%
3回	7	10.1%
4回	3	4.3%
合計	69	100.0%

### 2) 2018年(平成30年)(平成30年7月豪雨)の被災時の罹災証明

	N	有効%
半壊	3	10.3%
一部損壊	10	34.5%
なし	2	6.9%
わからない	14	48.3%
合計	29	100.0%

### 3) 2018年(平成30年)(平成30年7月豪雨)の被災時の被害状況

	N	有効%
床上浸水	26	89.7%
床下浸水	2	6.9%
その他	1	3.4%
合計	29	100.0%

納屋に浸水被害

### 4) 2019年(令和元年)(令和元年8月の前線に伴う大雨による災害)の被災時の罹災証明

	N	有効%
半壊	8	22.9%
一部損壊	1	2.9%
なし	4	11.4%
わからない	22	62.9%
合計	35	100.0%

5) 2019年(令和元年)(令和元年8月の前線に伴う大雨による災害)の被災時の被害状況

	N	有効%
床上浸水	26	74.3%
床下浸水	6	17.1%
あてはまるものはない	3	8.6%
合計	35	100.0%

6) 2020年(令和2年)(令和2年7月3日から大雨による災害)の被災時の罹災証明

	N	有効%
なし	2	20.0%
わからない	8	80.0%
合計	10	100.0%

7) 2020年(令和2年)(令和2年7月3日から大雨による災害)の被災時の被害状況

	N	有効%
床上浸水	3	30.0%
床下浸水	6	60.0%
あてはまるものはない	1	10.0%
合計	8	100.0%

8) 2021年(令和3年)(令和3年8月11日から大雨による災害)の被災時の罹災証明

	N	有効%
半壊	13	20.0%
準半壊	13	20.0%
一部損壊	5	7.7%
なし	2	3.1%
わからない	32	49.2%
合計	65	100.0%

9) 2021年(令和3年)(令和3年8月11日から大雨による災害)の被災時の被害状況

	N	有効%
床上浸水	59	90.8%
床下浸水	5	7.7%
あてはまるものはない	1	1.5%
合計	65	100.0%

### 3. 被災した後の住まいの復旧について

#### 1) 被災した際に利用したことがある支援を教えてください。

	件数	%	N
避難所	20	29.0%	
仮設住宅	0	0.0%	
公営住宅への一時入居	1	1.4%	
応急修理制度	18	26.1%	
見舞金	62	89.9%	
災害ボランティアセンター	9	13.0%	
NPO等ボランティア団体の支援	14	20.3%	
乾燥用資機材の貸し出し	4	5.8%	
物資	2	2.9%	
炊き出し	1	1.4%	
その他	8	11.6%	
合計	139	201.4%	69

- 応急修理制度が期間に間に合わなかった
- 自分たちでした
- 地域の任意団体

#### 2-1) 被災後、「住まいの復旧にあたって行ったこと」について教えてください。

	件数	%	N
家財道具の搬出	60	87.0%	
壁剥がし	37	53.6%	
床剥がし	42	60.9%	
乾燥(床上含む)	26	37.7%	
乾燥(床下のみ)	51	73.9%	
消毒(床上)	14	20.3%	
消毒(床下)	65	94.2%	
清掃作業	60	87.0%	
修繕	48	69.6%	
解体	1	1.4%	
建て替え	0	0.0%	
仮の住まい	2	2.9%	
その他	5	7.2%	
合計	411	595.7%	69

- 機械類の搬出、修理は大家さん

2-2) 被災後、「住まいの復旧にあたって行ったこと」(床上浸水経験ありのみ)

床上浸水経験あり

	N	%	N
家財道具の搬出	58	98.3%	
壁剥がし	36	61.0%	
床剥がし	41	69.5%	
乾燥(床上含む)	26	44.1%	
乾燥(床下のみ)	47	79.7%	
消毒(床上)	14	23.7%	
消毒(床下)	59	100.0%	
清掃作業	56	94.9%	
修繕	47	79.7%	
解体	1	1.7%	
建て替え	0	0.0%	
仮の住まい	2	3.4%	
その他	2	3.4%	
合計	389	659.3%	59

2-3) 「住まいの復旧にあたって行ったこと」のうち、行政やボランティアによる支援を利用したものについて教えてください。

	件数	%	N
家財道具の搬出	10	14.5%	
壁剥がし	2	2.9%	
床剥がし	2	2.9%	
乾燥(床上含む)	2	2.9%	
乾燥(床下のみ)	17	24.6%	
<b>室内(床上)の消毒</b>	<b>2</b>	<b>2.9%</b>	
<b>床下の消毒</b>	<b>57</b>	<b>82.6%</b>	
清掃作業	9	13.0%	
修繕	2	2.9%	
解体	0	0.0%	
建て替え	0	0.0%	
仮の住まい	0	0.0%	
その他	4	5.8%	
合計	107	155.1%	69

床下の消毒

### 3) 行政やボランティアによる支援が行われた割合

	実施件数	うち、支援有	割合
家財道具の搬出	60	10	16.7
壁剥がし	37	2	5.4
床剥がし	42	2	4.8
乾燥(床上含む)	26	2	7.7
乾燥(床下のみ)	51	17	33.3
室内(床上)の消毒	14	2	14.3
<b>床下の消毒</b>	<b>65</b>	<b>57</b>	<b>87.7</b>
清掃作業	60	9	15.0
修繕	48	2	4.2
解体	1	0	0.0
建て替え	0	0	0.0
仮の住まい	2	0	0.0
その他	5	4	80.0
合計	411	107	26.0

4) 「住まいの復旧にあたって行ったこと」のうち特に大変だと感じたものを3つまで、教えてください。

	件数	%	N
家財道具の搬出	44	63.8%	
壁剥がし	7	10.1%	
床剥がし	6	8.7%	
乾燥(床上含む)	4	5.8%	
<b>乾燥(床下のみ)</b>	<b>21</b>	<b>30.4%</b>	
室内(床上)の消毒	2	2.9%	
床下の消毒	10	14.5%	
<b>清掃作業</b>	<b>25</b>	<b>36.2%</b>	
修繕	11	15.9%	
解体	1	1.4%	
建て替え	0	0.0%	
仮の住まい	1	1.4%	
その他	11	15.9%	
合計	143	207.2%	69

- 乾燥
- 資材が入らず修理待ちに時間がかかった
- 事前の備え(荷物上げ)、仕事を休まないといけない点、消防職員が目の前を通っても声掛けすらない、
- 自治会から住民への連絡、調査など、
- 畳替え、被災前の荷物の上げ下ろし、外回りの掃除
- 洗い物
- 倉庫、車の被害が大変だった、
- 片付け、荷物の運搬

5) 被災した際に、行政やボランティアによる支援で充実して欲しいものについて教えてください。

	件数	%	N
家財道具の搬出	31	44.9%	
壁剥がし	4	5.8%	
床剥がし	4	5.8%	
乾燥(床上含む)	8	11.6%	
<b>乾燥(床下のみ)</b>	<b>21</b>	<b>30.4%</b>	
室内(床上)の消毒	10	14.5%	
<b>床下の消毒</b>	<b>16</b>	<b>23.2%</b>	
清掃作業	22	31.9%	
修繕	4	5.8%	
解体	1	1.4%	
建て替え	1	1.4%	
仮の住まい	3	4.3%	
その他	31	44.9%	
合計	156	226.1%	69

ゴミの集積所が決まるのが遅い、ボランティア来るのも遅い  
 ゴミの集積場が近くて良かった  
 ゴミの搬出やボラセンの設置スピードを上げて欲しい。  
 もっと早くボランティアに来てほしい 仮置き場の期間を長くしてほしい  
 家財他の廃棄物処理  
 救助  
 金銭面の補助  
 今まで通り  
 時間が掛かるので申し込まなかった  
 時間が経ってからの搬出  
 初めてのことで水害地域と知らなくて、何の余裕もないです。  
 初めの水害で詐欺があったと聞き信用できない  
 床下浸水への支援がほしい  
 身内で行えた  
 水が入らないのが1番  
 段取りがわからない  
 搬出する時車がなくて人から借りた。基礎の水抜きが大変だった

6) 再建するにあたって修理業者からの見積は取りましたか？

	N	%
複数の業者から取った	12	17.4%
1社のみから取った	42	60.9%
取らずに契約した	1	1.4%
業者に見積は依頼しなかった	6	8.7%
その他	8	11.6%
合計	69	100.0%

大家さんが修理

7) 再建するにあたって修理業者に依頼された場合、修理にかかった費用で最も近いものはどれですか？

	N	有効%
30万円未満	10	18.2%
30～60万円未満	8	14.5%
60～100万円未満	3	5.5%
100～200万円	7	12.7%
200～400万円	6	10.9%
400～600万円	11	20.0%
600～800万円	6	10.9%
800万円以上	4	7.3%
合計	55	100.0%

8) 応急修理制度を利用したことはありますか。

	N	%
利用したことがある	16	23.2%
利用しなかった	50	72.5%
わからない	3	4.3%
合計	69	100.0%

9) 応急修理制度を利用しなかった理由について教えてください。

	N	有効%
利用できるり災判定ではなかったため	9	18.0%
制度があることを知らなかったため	21	42.0%
修理費用に困らなかったため	4	8.0%
その他	16	32.0%
合計	50	100.0%

- 火災保険でまかなえたから
- 期間に間に合わなかった
- 期限があり提出書類も煩雑で範囲も狭く、頼れる制度ではありませんでした。
- 期限や業者に制約があった
- 使いづらかった
- 使って良いのか分かりにくい
- 手間がかかるから
- 手続きが煩雑
- 条件が合わなかった
- 制約
- 大家さんが修理
- 面倒くさい
- 利用条件が合わなかった

10) 住まいの復旧にあたって、できなかったこと

- お風呂周りの断熱材
- また来るかと思うと全部はできない 役所ももう一度は来るって言うし！
- リビングフロアは乾かしただけ
- リビング床を清掃しただけ、少してこぼこしている
- 一回目に風呂場、トイレを見送った。
- 家具の買い替え
- 金額は不明。床材のグレードを下げた。
- 玄関カマチはカビてるが諦めた、所々カビている
- 玄関の床
- 古い家だから修繕をしていない。ボイラーのみ交換
- 今回 2 回目の浸水で浴室壁の裏(断熱材)が半分ほど崩れていて無くなっていました。リフォームしようにも保険対象外の為予算が無くそのまま塞いでしまってます。出来れば保険対象外の補てんを久留米市である程度して頂きたいと思います。
- 子どもがいて生活できる範囲にとどめた
- 修理金額は不明

- 床
- 床の張り替え
- 畳下板
- 全体的に剥がれがあるが変えられなかった
- 全部はリフォームしていない。なぜなら、令和7年に地下貯蔵やポンプができると聞いてるので、ほぼ毎年水害にあうのにリフォームしても同じこと。
- 台所、洗面所、押入れの中、
- 台所の床を変えなかった
- 地盤をあげること
- 扉の下のめくれ
- 壁の一部
- 壁の中は開けてない
- 壁の剥がれが出てきている
- 壁は1部の交換のみ
- 保険の範囲でしたので妥協した
- 保険未加入の為、資金不足でLDKの修繕が出来ず、IH調理器や温水器はリースしているが、冷蔵庫下等、いつ床が抜けるか不安
- 廊下の床

#### 4. 災害時の情報について

##### 1) 被災した際に、支援についての情報をどこから知りましたか。

	件数	%	N
1. 市役所	40	58.0%	
2. 社会福祉協議会	4	5.8%	
3. 家族・親戚	2	2.9%	
4. 近隣住民や知人等	20	29.0%	
5. 新聞・テレビ等マスメディア	3	4.3%	
6. NPO等のボランティア団体	13	18.8%	
7. その他	11	15.9%	
合計	93	134.8%	69

インターネット、ネットなどで調べた、業者  
情報が入らなかった、知らないまま、知らなかった、日赤

2) 上記、1~7のうち、最も役に立ったものをひとつ教えてください。

	N	%
1. 市役所	27	39.1%
2. 社会福祉協議会	2	2.9%
3. 家族・親戚	1	1.4%
4. 近隣住民や知人等	16	23.2%
5. 新聞・テレビ等マスメディア	2	2.9%
6. NPO等のボランティア団体	12	17.4%
7. その他	9	13.0%
合計	69	100.0%

3) 支援についての情報を得る際、利用した手段はどれですか。

	件数	%	N
1. 新聞	1	1.4%	
2. テレビ	1	1.4%	
3. ホームページ	9	13.0%	
4. LINE	4	5.8%	
5. SNS (Twitter, Instagram, Facebook, TikTok 等)	2	2.9%	
6. YouTube等の動画サイト	0	0.0%	
7. 市役所・社会福祉協議会等の窓口(対面)	2	2.9%	
8. 市役所・社会福祉協議会等の窓口(電話)	9	13.0%	
9. チラシ	17	24.6%	
10. 説明会	0	0.0%	
11. 個別訪問	15	21.7%	
12. その他	27	39.1%	
合計	87	126.1%	69

引っ越ししたばかりで何も分からなかった、何も知らなかった  
 覚えていないが市役所ではなかった、近所の口コミ  
 近所の方から、口コミ、広報誌、自治会、自治会長さん  
 自治体、手紙、直接依頼

4)上記、 1~12のうち、最も役に立ったものをひとつ教えてください。

	N	%
2. テレビ	1	1.4%
3. ホームページ	4	5.8%
4. LINE	4	5.8%
8. 市役所・社会福祉協議会等の窓口（電話）	6	8.7%
9. チラシ	16	23.2%
11. 個別訪問	14	20.3%
12. その他	24	34.8%
合計	69	100.0%

5) 支援の申込み（依頼）をする際に、スマートフォンでの申込みに対応できますか。

	N	%
利用可能	40	58.0%
自分ではできないが頼める家族や知人等がいる	13	18.8%
自分ではできないので諦める	14	20.3%
その他	2	2.9%
合計	69	100.0%

ボランティアに連絡を直接している

ボランティア団体は直接会ってからがいい。

## 5. 防災・減災への取組みについて

### 1) 防災・減災へ取組みで利用しても良いと思えるプログラムを教えてください。

	件数	%	N
研修会・勉強会(リアル)	18	26.1%	
研修会・勉強会(オンラインや動画)	21	30.4%	
防災訓練	10	14.5%	
防災士などの資格試験	0	0.0%	
その他	29	42.0%	
合計	78	113.0%	69

できません

意味がないと思う。他人は頼りにならない

興味なし

参加しない

自分でする

水害がないようにしてほしい

水害工事説明会

地域の交流

天災は避けられない為、対策が必要

微妙

必要ない

必要なし、それより水害の工事を

普段から避難方法を把握している

防災、減災の取組みで私たちが出来ることは安全な場所に逃げることのみです。浸水しないように行政が勉強してほしいです。

### 2) 防災・減災への取組みについて、かけても良いと思える頻度を教えてください。

	N	%
3か月に1日程度	9	13.0%
半年に1日程度	8	11.6%
1年に1日程度	25	36.2%
時間がないので防災・減災には取り組めない	27	39.1%
合計	69	100.0%